

無量寿

2017
夏

CONTENTS

[P1] 巻頭特集「お盆の起源と浄土真宗のお盆」

[P2] 報恩講告知/家庭報恩講の薦め/H30年忌繰出

【発行】雲夢山壽命寺

大津市雄琴 3-19-36 TEL/FAX 077-572-5125 <http://jumyouji.net/>

今年もお盆が巡ってきました。離れて暮らす家族も揃い、みんなでお仏壇やお墓の前でご先祖さまを偲んで手を合わせると、心安らぐ思いがします。

ところでみなさん、お盆の起源ってご存知ですか？また浄土真宗ではお盆のご縁をどのように味わってけばいいのでしょうか？ご一緒にその心を訪ねてみましょう。



◆お盆の起源

お盆は『盂蘭盆経(うらぼんぎょう)』というお経の説話を元に始まったと言われます。要約すると、こんなお話です。

お釈迦さまの弟子、目連(もくれん)尊者が今は亡きお母さんを神通力で探すと、こともあろうか餓鬼道で餓えと渇きに苦しんでいました。目連尊者が水や食べ物差し出しても、目前で燃えてしまい与えることができません。困り果てた目連尊者がお釈迦さまに相談すると「お母さんの罪は重くあなた一人ではどうにもできません。でも間もなく雨季が明け多くの僧侶が修行を終えます。その日に食べ物や飲み物を盛大に施せば、きつとその功德でお母さんは救われるでしょう」と教えられます。そして目連尊者がその通りに施すと、お母さんはようやく餓鬼の苦しみから解放され、目連尊者をはじめ居合わせた修行僧たちも大きな喜びに包まれたのです。

このお話から夏のこの時期にご先祖を偲ぶ習慣が生まれ、さらに中国や日本古来の風習も混ざり合って今日のお盆が出来上がったと考えられます。因みに余談ですが、お母さんが救われて目連尊者が踊り上がって喜んだのが「盆踊り」の起源とも言われます。



◆浄土真宗のお盆



私達の浄土真宗では、この世を去られたご先祖様は阿弥陀如来のはたらきによって浄土に生まれていると聞かせていただきますから、『盂蘭盆経』の目連尊者のように「行く末」を案じて供養する必要はありません。

また一般にお盆はご先祖様が帰ってくる期間と考えられています。浄土真宗ではお浄土に生まれた方は仏さまとなつてこの世に還り来て、いつも私達を見守り導いておられると聞かせただくので、この期間だけの特別な準備もいりません。

もちろん、だからと言ってお盆を蔑ろにしているというわけではありません。ご先祖様が常に見守っていてくれているので、私たちが日常それに気づくことはほとんどないでしょう。だからご先祖様を身近に感じるお盆は大変貴重な機会です。

また、ご先祖様を仏様と仰げば、行く末を案じられているのは寧ろ私の方であることに気付かされます。ご先祖様を偲ぶ先に仏様とその世界へお浄土を想い、私の行く末を知らせていただく。そしてそこから今の私の姿と生き方を省みる。これが浄土真宗のお盆の心であり、ご先祖様への報恩となるのです。十五日は本堂を開放しています。お墓だけでなく、是非、本堂にもご家族でお参りください。

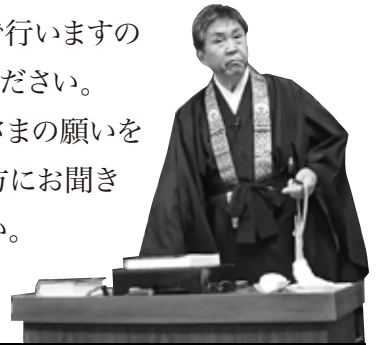
お盆が終われば秋。 秋と言えば...**報恩講!**

ということで、少し気が早いですが今年の寿命寺報恩講の告知です。下記日程で行いますので、今からご予約に入れておいてください。

ご講師は福井市からお招きします。仏さまの願いを

平易な言葉と優しい語り口でお取り次ぎしてさせていただきます。一人でも多くの方にお聞きいただきたいお話ですので、ご夫婦、ご家族、ご近所お誘い合わせの上、お参りください。

10/28(土)昼・夜 29(日)朝・昼 [講師] 高務哲量 師



家庭でも報恩講を!

お寺だけでなく、各ご家庭のお内仏でも報恩講を勤めるのが古くからの門徒の習わしです。報恩講は親鸞聖人のご恩に感謝する法要ですが、広げれば私にお念仏を届けてくださった全てのご縁への報恩の行事とも言えます。

ですから日時や形に拘る必要はありません。例えば一番身近なご先祖様の祥月命日に定めて毎年勤めるのも一案です。ご不明なことは遠慮なく住職までご相談ください。

2018(平成30)年 寿命寺門徒年忌繰出

※下記は過去帳の該当年の記載を全て書き出したものですので、既に法事を済まされた方のお名前も掲載しています。あしからずご了承ください。また、個人情報に該当します。本紙の取り扱いには十分ご注意ください。

【ご法事のご予約・ご相談】 ☎077-572-5125 <http://jumyouji.net/>

作法やお仏壇のお荘厳の仕方などで分からないことがあれば、気軽に住職にお尋ねください。ご法事に先立ってお宅に伺い、お荘厳を確認させていただくこともできます。遠慮なくお申し付け下さい。